

キリスト教のおこり

ローマ帝国

イタリア半島におこった都市国家 []
紀元前3世紀に [] を統一し、
[] 周辺の諸民族を次々と征服
紀元前1世紀に [] ができる。
()
にまたがる

ローマの文化

- ・ () を取り入れる
- ・ (字)、(法)
- ・ 道路・()・浴場・広場の整備
- ・ 奴隷は「 」としてひどく扱われた

↓
逃亡・反乱
() の蜂起

ローマの奴隷

奴隷はおもに海外での戦争で捕虜とされた人々で、大規模な戦争の後には一度に数万人が奴隷になることも珍しくなかった。アテネよりずっと規模が大きく、ローマの有力者は邸宅や大農場で数百人もの奴隷を使った。農場では逃亡を防ぐために足に鎖をつけることもあった。紀元前1世紀のイタリアでは、総人口600万人のうち150万人が奴隷であった。

ユダヤ人 (西アジア・パレスチナ) ←ローマに征服

・ ()、ききんになやむ

↓

救世主を待ち望む

↓

イエス「なやむ者、貧しい者は神の愛によって救われる」と説く。

↓

「神を信ずる者はみな救われる」と信じられる。

[教]

↓

キリスト教徒が増加

ローマ古来の神々への崇拝を拒否

↑

ローマ皇帝の迫害 →→→ ↓

↓

ローマの政治の混乱や経済の衰退

↓

国内統治のために公認・国教になる
(4世紀末)

イエス=キリスト (B.C.4年頃～A.C.30年頃)

北パレスチナのベツレヘムで生まれ、ユダヤ教の熱心な信者であった。30年頃、**墮落したユダヤ教支配者を批判し**、この世の終末の近いこと、悔い改めるべきことを説いた。下層民の間に彼の教えが広まり、救世主と考えられると、ユダヤ教の司祭やローマ政府当局は彼を捕らえ、十字架にかけて処刑した。死後、イエスが復活したとする信仰が生まれ、ここに原始キリスト教会が誕生した。